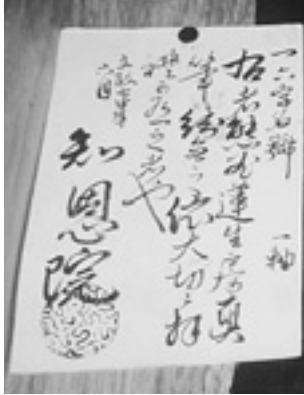


山  
陸

編集 山陰教区基幹運動推進委員会  
発行 山陰教区事務所  
〒900-0001 松江市大正町四四三ノ一  
本願寺山陰会館

TEL 〇八五二 〇四七四七  
FAX 〇八五二 〇八三五一  
発行者 三 明 浄 信



「蓮生房」筆の六字名号

— 八百年前の墨痕あざやか —

飯石南組 安楽寺 南部 宣行

「小瀧山安楽寺に古くから伝わる熊谷直実蓮生房筆の六字名号」は、もしそれが真筆とするなら、約

八百年前に法然聖人門下の蓮生房によって書かれたものである。

この「六字名号」には、文政七（一八二四）年に知恩院より発行された「真蹟鑑定書」も添えられている。また、現代の専門家による筆蹟・墨痕の分析からしても、まず蓮生房の真筆に間違いないだろうということで、寺宝として大切に保存、保管しているものである。

熊谷次郎直実・蓮生房は、周知のとおり、一ノ谷の戦いで平家の若武者・平敦盛を討ったことをきっかけに出家し（実際には伯父との所領争いに敗れたのが出家の機縁）、法然聖人のもとで親鸞聖人と兄弟弟子（でし）であった。いわゆる「信行両座」の事件の際に、信不退の座に就いたのが、法然聖人、親鸞聖人、聖覚法印、法蓮房（信空）、それに蓮生房の五人だけであったということからも、深いご信心の中に生きたことが偲ばれる。こうした味わいの中に、「蓮生房筆の六字名号」を、大切に保存し将来へ伝えたいと考えている。

### 第四連区門徒推進員研修協議会に参加して

因幡組 光輪寺 三村善信

去る、九月二十四、二十五日の二日間に亘って標記協議会が、松江市「ホテル一畑」において、予想を上回る約百四十余名が集い、盛大に開催されました。

初日は「基幹運動総合計画について」と題して中央基幹運動推進相談員の小林義教氏

より講義があり、続いて山陰教区以外の四教区代表による体験発表がありました。さすが、門徒推進員だけあって、味わい深い体験談を熱く語っておられたことに大変感銘を受けました。



した。初日の終わりの夕食会では、皆くつろいで食べ、唄い、共に語り、最後には全員で踊る等楽しい交流会となりました。

中には、それぞれの部屋で深夜まで語り合ったところもあったようです。

二日目は前日の話し合い法座の報告が各班よりあり、その報告をもとにご講師からまとめを頂き実りある二日間の研修会が終了しました。

門徒推進員は「資格ではなく自覚」が肝要と中央教修の時よく言われましたが、本研修会に参加して改めて「自覚」を常に念頭におき、自らができる活動をこれからも続けて行きたいと思つた次第です。

話し合い法座では、実行委員会より

- ① 講義、体験発表を受けて
- ② み教えに学ぶ
- ③ 山陰の妙好人に学ぶ

の三項目の内二項目を選択して話し合うよう指示があり、各班に分かれて活発な意見が続出し、予定時間が足りないほどの盛況振りで

明年は、備後で開催予定となつており、是非とも参加して、諸先輩の活動状況を学習したいものだと思つた次第です。

# 熱狂的な盛り上がり

## 第三十二回中・四国ブロックまことの保育大学講座

七月二十五～二十六日

この度、初めて浜田市を会場に開催した「第三十二回中・四国ブロックまことの保育大学講座」でした。ご承知のように、山陰教区の保育連盟加盟園は、わずかに九園！その上、東西に長く交通も不便というところで、準備から運営のほとんどを浜田市三園で実質上やらなければならず、とても不安でしたが、各園の園長先生や主任の先生方、一人ひとり



の強い責任感と連帯で何とか乗り切ることができました。また、音楽指導に地元浜田市の松森幸男先生をお招きし、先生の音楽への情熱や素材で楽しい口調について引き込まれ、私を含めて参加した皆さんともども、たくさんさんの学びを得させてくださいたいように感じました。

夕べの交流会は、楽しいゲームや音楽の生演奏（いずれも運営スタッフの手作り！）などで、とても温かい雰囲気となり、そのまま二次会までも多くの参加者があるなど、私自身は今まで他教区開催の研修会では経験したことのない、熱狂的な(?)盛り上がりとなりました。

また、浄土真宗のご法義に基づく「まことの保育」を学ぶ研修会ということから、地元の妙好人「有福の善太郎」同行に由来する「草もち説法」のスライド（約十三分）を作成し観ていただきました。妙好人のアリガタイ生き方を学びつつ、浜田市の隠れた銘菓「善太郎餅」の宣伝や出前販売までもして頂き、様々な面から、山陰石見地方の真宗をしつかりアピールできた「中・四国ブロックまことの保育大学講座」だったように思います。

(国府幼稚園 副園長 朝枝実成)

# 教務所長が交代

## 新任のごあいさつ

山陰教区教務所長  
本願寺山陰会館主管

三 明 浄 信

この度、十二月一日付人事異動にて山陰教区教務所長並びに本願寺山陰会館主管を拝命いたしました。

何分にも非才非学の身であります。皆々様のご厚情、ご指導を仰ぎながら微力を尽くす所存でありま

す。私事で恐縮ですが、当地において十七年間の永きにわたってお育てをいただき、図らずも五年五ヶ月ぶりに宗務を執らせていただくことは身の引きしまる思いであります。何卒よろしくお願い申し上げます。 合掌

## 離任のごあいさつ

国府別院輪番  
国府教区教務所長

三 上 正 文

今般、十二月一日付本願寺の人事異動にて、国分別院輪番、国府教区教務所長を拝命いたしました。その責任に身の引き締まる思いを実感いたしております。

山陰の地は、お念仏に薫る土徳に育まれ、多くの妙好人を輩出された地でありました。

ここ国府の地は、親鸞聖人が念仏禁制の法難で流罪になられ、恵信尼さまとお出会いになられ生活を共にされ、五年後にはご赦免になりましたが、師法然聖人のご逝去の報に接し、二年を過ごされた所です。明年四月には親鸞聖人越後伝道八百年法要・本願寺国府別院本堂建立二百年記念法要が、ご門主さまご親修のもと、二大法要として厳修されます。さらに身の引き締まる思いを実感しております。

在任中は多くの方々のご懇情を賜り厚くお礼申し上げますと共に、近くにお越しの節にはどうぞお気軽にお立ち寄りください。お世話になりました。皆さまのご健勝を念じ上げます。

合掌

# 少年連盟指導者研修会

サマースクールに向けて

去る七月二十四日、少年連盟指導者研修会が本願寺山陰会館で開催された。サマースクールに向けてのレクリエーション指導と本山研修会の参加報告をいただいた。その中で少年教化寺族女性研修会に参加された波北恵理氏（温泉津組・光善寺）に本山から持ち帰った資料を基に体験報告をいただいた。

### 真宗青年の集いに参加して ―感じる体、感じる自然―

二〇〇六中・四国ブロック  
大田 常見寺仏教青年会 (J・YBA 菩提樹の会) 河島 巨

今年の夏八月、島根県立三瓶自然館「サヒメル」等において、遠くは四国からの参加もあるなか、中・四国ブロック真宗青年の集いが行なわれました。

地元から今回の研修に参加した私にとって、三瓶山は正直「いつもと同じ景色」があると思っていました。ところが今までの疑問も持たずに使っていた、この「いつもと同じ景色」という言葉の意味を考え直すきっかけを頂いた研修となりました。

三瓶山の姫逃池のほどり、自分から何も働きかけなくても自然と向き合える環境の中で「自然を感じる」―他人の鼓動を聞き、一本の樹に着目し、一匹の虫に注目し、自分の呼吸を数え、雨水が大地に吸収されて湧き水となり川となる



事を想像してみる―すると、自分の目の前に在る景色が、ゆっくりと、しかし確実に動いている事に気が付きます。そして、全ての事柄が日々刻々とその姿を微妙に変化させ、今と同じ瞬間が二度と来ない事をいやがおうにも知るところとなりました。つまり、あの日見た夕陽と今日見る夕陽が同じで無い様に「いつもと同じ景色」というのは、有り得ない事だと改めて、というよりも初めて教えて頂いた体験になったのでした。

昨今、大雨による河川の氾濫・例年以上の豪雪・忘れ難い大震災・つい先日の大竜巻：想定外の自然の力に、人間は抗う事が出来ません。皮肉にもこうした災害によつて改めて自然に対する畏敬の念を知る現代を私たちは生きていくように思います。

だからこそ「いつもと同じ景色」と見て見ぬ振りをせず、「今、この景色」の大切さを知り、今、自分に来る事を考えなくてはならないと思いました。講師の西元和夫先生、ありがとうございました。

### 仏壮拡充に向けて、第一歩

単位会長会

そして、仏壮三地区研修会

七月下旬から九月上旬にかけて、教区仏壮連盟(杉本健治理事長)では標記・両研修会が開催された。テーマには「仏教壮年会の拡充と活性化について」と、あえて同一テーマを掲げて研修を行った。

殊に本年は教区仏壮連盟結成二十五周年にあたることから、そして親鸞聖人七百五十回大遠忌に向けて、「仏教壮年会結成のための趣意書」を作成して、仏壮活動のさらなる充実とより多くの仲間作りを提唱した。

そして、これによってさらなる組織拡充を図るために、特に今回、仏壮三地区研修会開催に当たっては、登録単位以外(全ヶ寺)へ研修会参加を呼びかけたところ、鳥取で五単位十二名、出雲で四単位五名、石見で十三単位三十三名の参加を得ることができた。緩やかではあるが組織拡充への意識の高まりも感じられる研修会となった。

研修会	期日	会場	講師	参加数
単位会長会	7月23日	本願寺山陰会館	日溪清毅氏	29名
鳥取地区	8月27日	伯耆組・香寶寺	上杉正之氏	71名
出雲地区	9月1日	頼原「やまなみ」	北島清秀氏	88名
石見地区	9月10日	江津組・円勝寺	藤川昭信氏	61名

御本山 **近** 用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055  
(600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367 (代)  
FAX (075) 371-5088

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店  
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社 **古田た佛具製作所**

営業時間/午前9時より午後5時30分 定休日/日・祝日

〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)  
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836  
http://www.furuta-butstugu.jp

第13回

世界化教婦人会大会(ハワイ)



八月三十日(水)〜九月六日(水)、六泊八日でハワイへ出かけました。参加者は総勢六十名の大所帯でした。そのうち男性の参加者は五名で、旅行会社から二名添乗員が同行されました。移動の都合上バスも二台で、

二班を編成しました。一日目の出発は、山陰教区内各地で合流し出雲空港に集合しました。西は益田から、東は鳥取岩美町からの参加者が集うため、東西各方面からバスに揺られながら出雲空港に集



合しました。出雲空港に集合し、結団式を行いました。三上正文教務所長のあいさつと団長の房安綾子前委員長のあいさつの後、教務所長の見送りを受け飛行機で羽田空港に向かいました。羽田空港から一時間ほどで成田空港に到着すると、同じ目的でハワイに向かう団体がたくさんありました。コナ空港に到着した後、綺麗な海を眺めながら昼食をとりました。ハワイ島ではハプナビーチプリンスホテ

ルで宿泊しました。二日目はハワイ島の観光でこの日はじっくりと観光気分を満喫しました。プルナウ黒砂海岸で海亀と戯れ、そしてヒコ別院の参拝をしました。ヒコ別院では仏婦会員の手作りの温かいおもてなしを受け、交流を深めました。またキラウエア火山の観光に出かけました。聞くところによると数日後キラウエア火山が噴火したそうので、自動車は通行止めになったそうです。そのようにハワイ島は大自然の多く息づく美しい島でした。夜はキャプテンビーンズのクルーズで夕食をいただきました。三日目はコナ空港からホノルル空港に入り、ハワイ別院の参拝をしました。ハワイ別院は白亜の美しい別院でハワイ開教地の中心的存在のこのことでした。ホノルルはハワイ島と異なり大変開発された都会で一大観光地でした。お昼は香港ハーバービューで中華料理をいただき、午後にはシェラトンワイキキホテルにチェックインしました。夜は少し離れたシーフードビルで夕食を楽しみました。長旅の疲れから、みんな静かに食事を・・・と思っていましたが大変な盛り上がりで大騒ぎになりました。隣の部屋に、他教区の方がおら



れましたが、山陰教区は楽しそうだなとوراやましがられました。普段はおとなしい？はずの山陰のイメージが変わりました。四日目はいよいよ大会初日、会場はハワイコンベンションセンターでした。大会内容は開会式の後、パネルディスカッション、そしてワークショップ、九つのトピックに別れそれぞれの企画を堪能しました。ワー

### 仏婦若婦人研修会

七月三十日(日) 温泉津組・瑞泉寺を会場に開催いたしました。参加者は二百八名。今年石東ブロックの担当で開催いたしました。

ご講師に出雲組・覚専寺ご住職の佐々木俊教氏をお迎えし、「照らされて〜ともに歩むなかま〜」というテーマでお話をいただきました。「信罪福心とは、至らないこの私が光に照らされた時に、本当に落ち着いて行ける世界であります。愚痴をこぼすな、喧嘩をするな、殺生する



クシヨップでは九つのトピックスの中、講演に関する歌を見学しました。そして十八時から夕食懇親会があり、ハワイアンシヨウ(古典・近代ダンス)を堪能しました。

五日目は、大会二日目で朝九時から午後三時までありました。午前は総会があり、与世盛智海開教総長から今まで議決され採択された条項の整理の提案がありこれが採択されました。また次回は五年後の日本で開催されることになりました。交流会を楽しんだ後、解散となりましたが、今度は早いはずだと思いつながら、名前を呼ばれるのを待ちましたが、また最後になり困りました。参加者の不満が爆発しそうになった時にロビーに出ると歓声がありました。最

など求められれば何一つ徹底できない私が、お前が最後までできぬから私が引受けずにはおれない・・・という仏の心を頂く時に本当の安心を得るのです」と肝要を噛み砕いて、分かりやすくお話いただきました。

昼食の後、七分科会に分かれ、熱のこもった話し合いがなされました。分科会の後は各班の発表でしたが「おこづかいの請求書」という話に非常に感銘を受けたという方が多くありました。初めてお参りされる若婦人の心に響くお話でした。発表者が問題意識を持ち発言される姿を見るにつけ、仏婦活動の充実を心強く

後の退出者に対して総裁様が気をとお使いになり、お見送りに出て下さったからです。掲載の写真がその時のものです。夜はシエラトンワイキキホテルの中にある吉家で和食を楽しましました。たいへん盛り上がり、会場が笑いの渦につつまれました。

六日目は終日フリータイムでした。オプシヨナルツアーではパールハーバー・戦艦ミズーリ号の見学とアトランティスサブマリントワー(海中潜水艦)がありました。

最終日は日本へ帰るだけでしたが、関西国際空港に着いた時は大きな喜びでした。空港からバスで帰る時はあいにくの雨でしたが、日本の良さもよくわかりました。

感じました。

また今回開催して感じたことは、温泉津という土地柄は、やはりご法義地であるということです。若婦人も多く素直にしかも自然に仏法に親しんでおられる様子に、小さな驚きを感じるほどでした。これを土徳というのだろうと感じながら、このような優れた仲間らに学び、その空気に触れることで、自らの活動を振り返るよい機縁になったかと思えました。

若婦人の育成を願い開催していますが、普段からの地道な聴聞と活動の必要性をあらためて感じました。



### 僧侶研修会

女性僧侶、延べ四十三名が参加

九月十二日から十三日の二日間、大田市「あすてらす」において、霊山勝海勸学により「現生正定聚」浄土真宗の人間像」と題して講義をいただいた。参加者は昨年より約百名増の延べ二百六十一名。その内女性参加者は延べ四十三名であった。年々女性僧侶が増えているが、こういう場に積極的に参加いただいたことは本当にありがたいことである。

さて、講義は「親鸞聖人の現生正定聚の概要」に始まり、即得往生、現生十益、便同弥勒・如来等同、真仏弟子、そして「逆誘の存在としての正定聚」と、それぞれ連関した内容ではあるが、また多岐にわたっての講義であった。さらに折りに触れて交えられた、三業惑乱当時の大瀧(だいえい)和上にまつわるエピソードなど、和上のご造詣の深さの一端を垣間見ることができた、意義ある研修会となった。

以上、二日間にわたる講義が展開されるのだが、紙面の都合で詳細についてはやむなく省略する。多くの希望があれば、僧侶研修会をはじめ、各種教化団体の研修会等の『講義録』などを編集・出版することができるとは思えない。いかがなものでありましょうか。 ↓「クリック」参照

### 初めての試みとして 教学座談会を開催

教学研究専門委員会 市野不盡

去る九月十二日(火)に、教学研究専門委員会企画のもと、初めての試みとして、「妙好人を考える」をテーマに教学座談会を開催しました。お互いに議論を交わすなかで、布教伝道の現場における教学の問題点を共有し、教化活動の方向性を探っていくといった趣旨のもと、寺院振興部の協力を得て、教区僧侶研修会の第一日目の講義終了後の開催となりました。

妙好人との関わりの深い温泉津・安楽寺・梅田謙道氏と浜田・光現寺・菅和順氏から日頃の思いをそれぞれ発表をいただき、参加のみならずからご意見をいただきましたが、時間の都合や想定外のたくさんの方の参加で、十分に議論を深めることができず、今後に課題を残しました。開催の継続を希望する声に心強さを感ずるとともに、二回目以降に向けて開催のあり方を検討しなければと思えます。ご意見・ご希望をお寄せください。



教学研究専門委員会 市野不盡

### 秋晴れの中でクラフト

若寺婦研修会

十月三十一日(火) 邑智東組の真清寺を会場に開催いたしました。参加者は二十四名。今年は邑智プロジェクトの担当でした。

ご講師には邑智東組の西林坊ご任職の澤田隆之氏をお迎えし、新しいスローガンである「ともにいのちかがやく世界へ」というテーマでお話をいただきました。「たくさんの理想の中でこれだけは子どもに伝えたい、それは他人の痛みを分かろうとすること。優しさは同情の延長にあるのではなく、悲しみに耐えた人のところにある」また「明るく元気であることは、弱く泣き虫でもない。いのち輝くとは今のように『勝ち組・負け組』の格差社会でなく、いろいろな個性の集りが社会なのであるから、みんなちがってみんないい、というのが、ともにいのちかがやく、世界なのではないか」と感銘深いお話をいただきました。

午後は邑南町にあります香木の森からクラフトの先生を招き、オリジナルフットスタンドを作りました。これはアトラクションの一環として実施しているものですが、地元産の産物に触れることで邑智郡の素敵な土地柄を感じられる良い機会となりました。

秋晴れの清々しい一日を、ご法話をいただき、お昼には若寺婦の仲間と語り、ともにクラフトに興じるという楽しく且つ有意義な研修となりました。

仏壇・寺院用品・製造・修復

報恩感謝

ぶつだんの

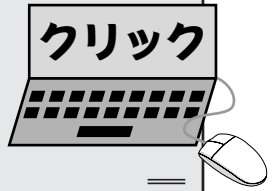
内田衷造商店

木次 ☎(0854)42-0266 下熊谷 ☎(0854)42-3711  
出雲 ☎(0853)21-3253



Your Global Lifestyle Partner  
株式会社JTB中国四国  
松江支店

住所：島根県松江市菅田町180 原徳興産ビル2階  
TEL：0852-23-2020(国内旅行) / 23-2024(海外旅行)  
0852-23-6720(団体旅行)  
FAX：0852-23-2023



僧侶研修会

なぜ、そして、何が真の仏弟子なのか

親鸞聖人が法然聖人の門下生であった頃に、法然教団に対して念仏弾圧という大変厳しい禁制が加えられます。

その一つが解脱上人貞慶の書きました「興福寺奏請」。奏請はその一番最初に「釈迦を軽んずる失がある」と。「専修専修と言うけれども、釈迦の名号を唱えない。本師の名前を忘れていてはないか。それで一体誰の弟子というのか」という非難を受けるわけです。もう一人は明恵上人高弁でしょう。明恵上人という人は「摧邪輪」であります。笠置の解脱と、梶尾の明恵は旧仏教の代表者。どちらも優れた学者であり、求道心が極めて顕著なお方だった。そして戒律復興ということをどちらもおっしゃるわけでありませう。

ですから、旧仏教というのは、我々こそが釈迦諸仏の弟子である。そして、戒律を全部守りながら弥勒菩薩の出現を待って、弥勒菩薩の救いによって必ず仏果を得るといふ弥勒信仰の人々ということが、当時の真摯な仏教徒の姿であったわけですね。

だと言うけれども、私だって釈迦諸仏の弟子だよ」と。そして「釈迦諸仏の弟子といっても、釈尊の教えといつても、現世は末法ではないか。末法の時代の釈尊の教えというものは、正法はあっても行ずる者はないし、そして戒律を守る者もない。そういう時機にあつて、真の仏弟子とは一体誰のことなんだ」という思いが、あの親鸞聖人をして便同弥勒釈と。弥勒と同じとか仏と等しいとか、あるいは、真の仏弟子ということのは私のことなのだ、念仏者のことなのだということを示わしめている。そういう面があつたのだらうと思われませう。

それから、奈良仏教の問題。奈良仏教つまり律令仏教というのは国家規範によって、俗の世界によって僧尼を規定するという仏教です。だから、僧侶も尼も、どちらも国家権力の下に奉仕するのが仕事です。

それに対して伝教大師が非常に反発なさつて、反律令仏教を興された。比叡山に山家学生式を作つて、国立戒壇を大乘戒壇になさろうとされたわけです。これは僧尼が僧尼を規制するのであつて、国家が規制するのではない。「国家が規制するようなものは仏の弟子ではない」というようなことを伝教大師が『末法灯明記』におっしゃつておられるわけです。

それで親鸞聖人は、「あんなたちの師匠である伝教大師が、現在のよ

うな時代に僧はおらんぞと。名字の比丘、それが現在最も尊敬される姿である。真の仏弟子というのは戒律を守ることはない。私どもは汚いなりをしておるし、衣も泥にまみれて汚いけれども、心の中に宿つていただいた如来さまの真実、これによつて、このたびとうとう仏にならせていただく。これこそが真の仏弟子である」。そういう旧仏教に対する反発、言動が真の仏弟子釈です。あるいは便同弥勒、如来等とおっしゃる、その意図なのです。浄土真宗こそが、念仏によつて救われていく者こそが真の仏教徒であるという意識をもたらしただけでなく、ここであらうと思ふのであります。(抄出)



京仏壇京仏具・お仏具ご修復  
ご本堂内装・お納骨壇



創業 安永4年(西暦1775年)

京 仏 具

小堀

http://www.kobori.co.jp/

本店/〒600-8159 京都市下京区烏丸通正面 上る  
TEL(075) 341-4121(代) FAX(075) 341-4128  
☎(本店)0120-27-9595 (受付時間9:00~19:00)  
Eメール(本店)info@kobori.co.jp 無料冊子をどうぞ

東京店・練馬店・福岡店・札幌店・小堀京仏具工房  
お仏壇専用サイト Yahoo! Shopping ストア小堀 http://store.yahoo.co.jp/kobori/  
京仏壇・京仏具の製作現場をご覧になっていただけます。

ご希望の方は、事前に本店へお申し込みください

お仏壇・仏具はやっぱり京都...



京都本社/〒600-8218  
京都市下京区七条新町東入  
☎(075) 371-3131(代)  
東京店/〒146-0081  
東京都大田区仲池上2丁目8-13  
☎(03) 3755-8488(代)  
近江草津店/☎(077) 564-1011  
築地店/☎(03) 3546-8228(代)  
札幌店/☎(011) 512-3455(代)  
仙台店/☎(022) 213-0666(代)  
福岡営業所/☎(092) 761-3737(代)

フリーダイヤル(各店共通)/☎0120-37-8585  
ホームページ http://www.wakabayashi.co.jp  
Eメール info@wakabayashi.co.jp

伝統工芸 京仏壇・京仏具

若林

組相談員研修会

二つのスローガン

「基推スローガン」

「ともにいのちかがやく 世界へ」

「大遠忌法要スローガン」

「世のなか安穏なれ」

九月二十九日、組相談員研修会が開催された。出席者は基推委員を加えて三十一名。

まず各ブロックより選出された組相談員からの課題提起を受ける。それを踏まえて、事前に行ったアンケート調査に基づきながら、それぞれの取り組みについての課題や展望などについて話し合った。

基推スローガンに関しては、「行動を方向づける理念として」あるいは「何ができるかできないかの前に、自分自身が、したいと思うか、しようと思うかが問われている」と指摘され、また大遠忌のものについては、「戦時中、宗門が軍部の圧力に耐え、僧侶も門信徒の方々も、戦争に行かなければならなかった、苦く悲しい出来事の歴史を通して、なおかつ慚愧の心を持つことの意味」が問われ、また「断章取義にならないよう」という指摘もなされた。

それぞれの組基推においても、これらのスローガンからの取り組みを展開していただきたい。

基幹運動推進婦人

研修会に参加して

温泉津組 願楽寺 藤谷麻紀

今回初めて教区の基幹運動推進婦人研修会に参加させて頂きました。元龍谷大学講師の中川洋子先生が、浄土真宗における歴史と人権―憲法との関わりを通して―というテーマでお話をされました。

いつも仏教婦人会の研修会や報恩講などで聴聞をさせて頂いています。先生もおっしゃっていらした様に、日ごろ聴聞させて頂くのは違った角度から真宗や親鸞聖人、憲法をどう見ていったらいいのかという事をお話をされました。

憲法では一つひとつが関連を持って一つの理念、人類の願いに基づき定められている訳で、私たち一人ひとりが「不断の努力によってこれを保持しなければならぬ」という責務をお話し頂き痛感致しました。

親鸞聖人の教えを受け継いでこの現代社会をどう生きていったらいいのか、という事と憲法のもつ理念、願いを継承していくという事が結びついていく訳で私たちと無関係ではありません。

先生がおっしゃられた様に現代は親鸞聖人の時代よりずっと末法の度合いが深い時代です。テレビや新聞で目にするのは無力感、絶望感で一杯になる様なニュースばかりです。しかし、「安穏なれ」ただそう感じるのはなく聖人の歩まれた道、他方のみ教えをひろめることによって人類永遠の福祉に貢献すること、そういう道を行かねばならない、憲法に示されている人間の尊厳を伝えていく努力をするのが私たちの歩むべき道であるという事を感じました。

研修会に参加させて頂き、人権や憲法について深く考える機会を頂きました。ありがとうございます。

鳥取ブロック布教大会

伯耆組 山田淳信

十月十七日(火) 十八日(水)の二日間、鳥取ブロックの因幡組六ヶ寺、伯耆組四ヶ寺、計十ヶ寺の協賛を得て、布教大会を迎えました。心よりうれしく、又、出講いただきました先生方々、色々お世話下さった皆様に深く感謝申し上げます。

初日は布教使研修会を、鳥取駅裏の厚生年金会館で三十三名が参加して、講師、野の花診療所院長・徳永進先生より講題「死の位置」と「死を見る位置」と題して、問題をなげかけていただきました。

医療の現場にあつて様々な場面を一つ一つ手に取る様にお話し下さり、死を人の事と思いがちな眼と、自分自身の問題と見る眼のちがいを熱心な口調でお話しされ、皆、うな

ずきながらの研修となり、さぞかし今後の布教のご縁の中で生かされることと感じました。

二日目の午前中は、話し合い法座と題して『布教の作法と心得2』について、窪田享信先生より疑問点を指摘下さったご縁をいただいたことをテーマに出席者全員が一口ずつ感想等発言され、各先生なりにまとめられたのではと思います。

その後、各自布教所へ二名ずつ出講されました。

その後の各会所任職様より、毎年、色々なご法座や常例法座等のご縁の中で、この度は特に布教使様お二人とは、と大変お慶びいただきました。

いずれにしても、すべての行事を行なうにあたり、なかなか思う様に事がはこばぬもどかしさ等、よっぽどのご理解なければ実らないものと肝に銘じて味わわせていただいた地区別布教大会のご縁でした。

また、何年後にも鳥取ブロックにご縁ありますことか、楽しみに待ちたいと思います。





靖国問題をめぐって

連研のための研修会

十月三日(火)、本願寺山陰会館にて『連研のための研究会』が開催された。各組より組長、組相談員、



そして教区専門委員が加わり、合計三十二名が出席。

まず楠真連研中央講師より、「靖国問題へのアプローチ」と題して課題提起が行われた。事前の組連研担当者アンケート調査でも、「真宗の教義の上からも徹底させるべき」にはじまり、「靖国神社にある霊位簿からの削除を求めることは信仰の自由に反しているのではないか」とか、「このテーマは大変展開しにくい」、「問題なのは任職の姿勢にある」等の回答があるなど、僧侶の側でさえ足並みの揃わない課題であり、ややもすると避けられがちな課題であるという。そこで、今回は基礎からの学習に主眼を置いた課題提起となった。

次に「連研の現状と問題点」について、まず教区専門委員会から北島清秀氏が実施状況の調査書により地域格差等の課題について報告。「組連研」からは温泉津組波北頭氏より、連研によって真宗門徒としての自覚を新たにした人たちの事例がある一方、中央教修への参加者がいないという課題が提起された。これらを受けて、教区門推協会長松浦靖氏からは連研受講者の促進、門徒推進員の育成について強い要請があった。

全体の協議会では、中央教修へ連結していくために、受講者の募集の時点で中央教修(門徒推進員)を視野に入れた、計画性をもった連研の取り組みの必要性について確認することができた。

二十九冊の本願寺手帳

前賢事 吉田史章

今、私の机の上には二十九冊の本願寺手帳が積まれています。約三十五センチにもなります。日記をつけていない私にとって、教務所に勤務した二十八年六カ月の個人的記録の全てです。

その中何冊かを開いて見ました。仏書の洋上大会、伝灯奉告法要、総参拝、各組ご巡教、中国少年大会、妙好人カレンダー、教区報、五十八年島根県西部豪雨災害、本願寺本堂昭和御修復、教区基幹運動推進委員会設置、五ブロック連絡会議、本願寺寺基移転

雑行感

四百年記念法要、終戦五十年全戦没者追悼法要、点検糾弾会、蓮如上人五百回遠忌法要、教区連研研修会、中国国講師研修会、新護持口数制定・・・等々、手帳をパラパラめ

くっただけでも私が関係した行事・事業が目に入ってきました。それぞれの行事・事業の色々な場面がスライドショーの様に次々と脳裏に浮かんできました。そして、あの方にも、この方にもお世話に

なつたなど、感謝と同時に多少センチメンタルな気持ちになりました。特別な行事・事業以外の恒例の会合・委員会、庶務願記の手続きでも多くの方々のお世話になりました。特に歴代の各組長さんのご協力が無ければ、私の仕事はできなかつたと思えます。心から感謝しています。教務所は退職いたしました。が、退職を退職したわけではありませんので、また皆様とお会いする時を楽しみにしています。永年にわたり本当に有り難うございました。今後ともよろしくお願いたします。

昭和33年10月 たった1台のタイプライターから 当社の歴史は始まりました



株式会社谷口印刷 TANIUCHI PRINTING CORPORATION

〒690-0133 松江市東長江町902-59 朝日ヒルズ TEL(0852)36-5888 FAX(0852)36-5889

あなたの要望を形に!

商業印刷

印刷の原点はここにある

出版印刷

活用方法は無限大

マルチメディア制作

出力サービスもおまかせ

オンデマンド印刷

イベント用ポスターなど

御本山御用達 開明社員

井筒法衣店

井筒與兵衛

本店 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前) (〒600-8503) フリーダイヤル ☎ 0120-075-720

フリーダイヤルFAX 0120-075-490



# クローズアップ

災害時に私のできたこと

神門組 西念寺住職 雲藤 一英

本年七月十八日深夜より十九日にかけて、神戸川氾濫洪水により、上流部では、三名（神門組西善寺門徒）の方が亡くなりました。わたしは、三名の住む出雲市所原町は、町内二百五十戸の内約半数（約九割が真宗門徒）が濁流による家屋浸水の被害に遇われました。

その災害から復旧作業について振り返って、何ができたかを考えてみますと、  
「情報を収集し、適切な所へ情

報の伝達をし、対処して頂く。」

今回は、これしかできなかった。私の行動です。電話もダメ、有線放送も聞こえない、携帯電話のドコモはアンテナの配電盤が冠水し、ぜんぜん使えない状態の中、不確実な情報が飛び交う被災直後、被災地を歩き回り、家を訪ね、見舞いの言葉をかけると、いろいろな話をして下さいました。その話の中で出た被災者の情報を振り分けて、災害対策本部あるいは直接に市等それぞれの部署に連絡を取り、それなりに対処してもらいました。

その中で、畳をはがれ、座板の取られた家での復旧作業。居場所のない「高齢者・子供達」何とかならないだろうかと、地区の民生委員さんに、大変な問題を投げかけましたところ、他の問題もあり、地区の民児協が即、被災家庭を訪問し状況確認をし、協議された結果、「高齢者と子供の居場所」を開設する事になりました。朝八時から夕方六時位まで食事・おやつ付で、高齢者は四〜八人位、子供達は二十〜五十人位毎日集まりました。地域の子育て最中のお母さ



ん方が、子連れでお手伝いに参加してくださいました。

災害ボランティアセンターがまだ機能しない状況の頃、「子供遊び相手」ボランティアを教区内の若手僧侶が手を上げてくれた事大変有難かったです。シヨック等で沈んでいた子供達が二日目三日目と災害前の姿に戻っていくのが判ってくるのが本当に嬉しかったです。

最後に、このたびの災害に於いて、いろいろなご支援、紙上を借りて御礼申し上げます。有難うございました。

## 7・20水害被害状況

7月20日の集中豪雨により、教区内各地では大変な被害に見舞われました。罹災された皆様にお見舞い申し上げます。組長事務所より報告いただいた被害状況は以下の通りです。

御門徒等の罹災された寺院	松江組	2ヶ寺
	神門組	11ヶ寺
	温泉津組	5ヶ寺
死者・行方不明者	佐波組	1ヶ寺
	神門組	死者2名 行方不明者1名
家屋の全半壊	温泉津組	2戸
	佐波組	1戸
床上浸水	神門組	96戸
	温泉津組	1戸
床下浸水	神門組	6戸
	温泉津組	6戸
墓地冠水	松江組	1ヶ寺
	神門組	1ヶ寺
裏山（一部）崩壊	松江組	2戸
	佐波組	1戸

## 新職員挨拶

松江組 順光寺 備 純吾

昨年の十一月に、順光寺に婿入りしました。今年の十月から、職員として勤務させていただいております。

担当部署は、庶務・願記書類の取り扱い・妙好人カレンダールの受注処理などです。以前の職場でパソコン業務の担当だったこともあり、データベースの管理・告知パンフレットの作成などにも携わっております。現在、年度内の教区ホームページ立ち上げに向け、準備を進めています。教区発展のため、尽力してまいります。よろしくお願ひします。



近年特にこの数年来、少子化により子供会・日曜学校の維持が困難となった寺院が多く、各寺の御住職方も頭を悩ませておられます。子供の時にしっかりと仏法に御縁を結んで、お寺に親しみを持って頂くのが何よりと思われます。しかし、子供会の必要性は重々承知して

# ドレミファ組

## 「江津組子供の集い——仏の子供を育てよう——」

江津組相談員 山本真文

いても、現実にはお寺単独では難しいという状況を踏まえて、組として取り組もうということになり、今年で三年目を迎えました。

子供会の開催が困難な理由は、少子化・核家族化だけではなく、

学校や地域の行事・クラブ活動・塾・習い事など実に多くの問題があります。そうした様々な予定の中で開催が可能な日というのはほとんどなく、何かの予定とぶつかるといふ現実の中で、何とか子供会を開催したいという思いから、

仏婦・仏壮・総代の方々の協力のもとに、やっと年一回、一日だけ開催しているというのが本当の所です。

「仏の子供を育てる」ということについては、仏婦や仏壮の会合でもよく話題になりますが、「どのようにして?」「どうしたら?」ということになるとなかなか妙案がなく、組単位だけではなく、教区や本山中央においても子供会の実施について本気で、様々な情報

や実施方法の紹介、さらには実際に支援する体制を整えて、現実的総合的に浄土真宗の教団として対応していく必要があるように思います。

ともあれ三年目の今年は三十名の子供達が参加し、仏教讃歌・おつとめ・御法話・ゲーム・会食などを共にして、仏前での時間を過ごすことができました。今回特に、五名のジュニアリーダーズの中高中生にゲーム指導を依頼しました。彼らにとってもお寺での活動は初体験ということと、とてもよい御縁だったと思います。

今後は組単位で、子供会を各寺に巡回しながら、各所の子供達にできるだけお寺に親しみ、仏前で過ごすことのできる環境を整えなければならぬと思います。そのため財政的・人的協力支援体制を整え、可能であれば年数回以上実施できればと

思っております。

門信徒必携 2007年版

# 門信徒手帳



月ごとに12の法話が  
味わえます。

8月-2007

13 MON 月

14 TUE 火

15 WED 水

16 THU 木

その日に行われる  
法要や行事がわかります。

宗祖月忌法要 (15~16)  
第14代寂如上人御祥月法要  
戦没者追悼法要  
夏御文章御収軸式

1月の法話

私の光にあうと 煩悩のさわりをはなれ 身も心も和らぐ 仏説無量寿経

昨年の夏に亡くされましたが、スイスにジョン・エラルクという念仏者がいました。とはカトリックの司祭で、真剣な求道者。親善の教えに遇い...

宗祖月忌法要 (15~16)

第14代寂如上人御祥月法要

戦没者追悼法要

夏御文章御収軸式

門信徒として知っておきたい事柄が満載

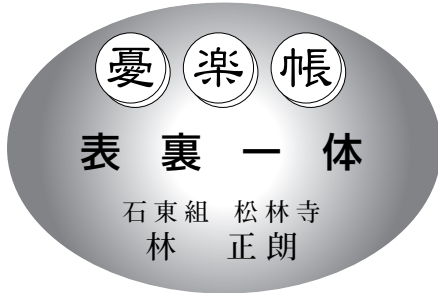
- ◎教書 ◎ご消息
- ◎門信徒について
- ◎真宗用語豆知識
- ◎年間の法要儀式行事
- ◎参拝関係のご案内
- ◎本願寺の歩み ...等

定価 840円(税込)

- 環境対応型手帳 (エコロジーペーパー・無公害素材カバー・大豆インク使用)
- シャープペンシル・住所録(別冊)付
- サイズ: 天地170mm×左右80mm
- 表紙カバー色: 濃紺

早いもので今年もあと僅かになりました。昨年山陰に帰省し、最近特に思うことは宗派が最重要課題として推進をしている都市開教について、派内の一部の人たちが推進しているだけで宗門一丸となつて推進されていないことに改めて気づきました。昨年まで奉職させていただいた首都圏は都市開教の最前線だったこともあり、「驚いたこと」と「やはりな」と思ったことでした。毎年、莫大な尊い浄財を予算に割当て推進されていることですが、あまり成果がでていないように思います。その理由として、施策が正しく宗門全体に伝わっていないことと、全ての方ではありませんが山陰教区内には都市開教は自分には関係ないことと思つていること、又考える余裕が無いなど色々考えられます。

最近の明るい兆しは、石見銀山世界遺産登録が予定され、「経済的にどれだけ潤うことができるだろうか？」と思うことです。このままいけば十数年前にこの教区で「寺が消える」報道がありました。同じような現象が加速するよ



うな思いです。私の住んでいるところは昨年合併で人口四万余りの市になりましたが、本派寺院が約百ヶ寺あり、寺院数だけ過密地域です。首都圏は四千万人に対し、本派寺院は約四百五十ヶ寺です。こうして比較すれば良くわかりますが、それほど「過疎」問題が深刻な問題になつてきている現状です。私自身、お寺を後継者にこのまま引き継いで良いものかと悩んでいます。言うまでもなく「過疎」と「過密」は表裏一体であります。山陰教区に都市開教の現状と

正しい寺院設立方策等を首都圏から詳細な説明機会を定期的に設けられ、都市開教の推進と過疎問題が同時に解決できる可能性のある機会を設けていただけないかと思うことです。少なくともこのままではお寺が消えていくように思います。又、新しい年を迎え静かにお念仏申す人生を歩ませていただきます。と

編集後記

今年もあと僅かになりました。又新しい年の準備もしなければならぬ時期です。ただ同じ組のご住職がガンのため亡くなられ、歳も近いこともあり改めて諸行無常・老少不定の理を思ったことです。九十才を過ぎた老院の「代わつてやればという老人の愚痴は、まさに私の事でした」という一言は重いものでした。今年の報恩講も無事に済ませることが出来ましたが、毎年今生最後だという一期一会の気持ちでお勤めしなければと思つたことです。

このたびの教区報は行事の内容報告が中心となりましたが、逆に言えばこれだけの行事が行われたという事に驚きを覚えました。

自分に直接係わりがないと、無関心になりやすいものです。今世の中で問題になっている「いじめ」もそうかもしれません。

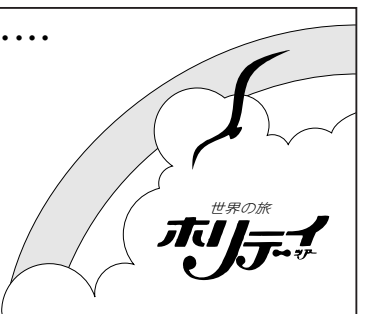
是非教区報を通して教区の「動き」についても関心を持っていただきたいものです。近いうちに教区のホームページも立ち上げる予定です。こちらの方もよろしくご支援下さい。(RS)



……ともに いのち かがやく 世界へ……

「大遠忌法要」の団体参拝の計画は  
「念仏奉仕団」お気軽にご相談下さい。

……… 旅のことならどんな事でも ………



近畿日本ツートリスト(株)山陰支店

〒690-0887 松江市殿町171番地(県庁前) 島根石油ビル1F  
(国土交通大臣登録旅行業第20号)

ここにこ ilyokusanban  
☎(0852) 22-4893